

とばぐらしの魅力を再発見

企画財政課移住・定住係 ☎(25)1227

市では、移住相談のワンストップ窓口を設置し、都市部からの移住希望者を積極的に受け入れるため、切れ目ないきめ細やかな移住支援に取り組んでいます。

鳥羽へ移住してイキイキと生活している移住者のかたにスポットを当て、普段当たり前に感じている暮らしの中にある魅力を再発見したいと思います。

今回は、市の空き家バンク制度を利用して長野県から鳥羽市へ移住し、美容室を営営する山中零生さん、智世さんご夫妻に鳥羽での生活についてお話をさせていただきました。



鳥羽で開業した美容室
イグム・タンカ (三丁目)



山中零生さん(33歳)、智世さん(33歳)

～プロフィール～

- ・平成29年9月に長野県から鳥羽市へ移住
- ・美容室イグム・タンカを営営

鳥羽に移住するまでの生活は？

零生さん 長野県で23歳から美容室を営営していました。5年前に妻と結婚してからは、2人でお店をしていました。

鳥羽へ移住するきっかけは？

零生さん 美容の勉強をするためにこちらに頻繁に通っていて、次第に移住を検討するようになりました。

智世さん さまざまな市町の移住制度を調べましたが、鳥羽の制度が一番良かったと思います。鳥羽を訪れて、現地案内をもらったたり空き家バンクの説明を聞いたたりして、実際にいろいろ見ることができました。

零生さん 移住したことへの不安はありませんでしたか？

零生さん 移住したことがなかったのが最初は不安もあり

ましたが、周りのかたが親切で、いろいろと助けてくれたので不安も解消されました。
智世さん 知り合いもいなかったのが不安でしたが、今は移住して良かったと思っています。

移住する前の鳥羽の印象は？

零生さん 電車から降りてすぐに駅前のお店で海の幸をいただきました。美容室のことを話したら「行くわー」と言ってくれたのがうれしかったです。

鳥羽での生活や人付き合いは？

零生さん イグム・タンカではヘナという天然100%の草木染をしています。ヘナは髪の色を染しむというよりは、薄毛や頭皮のことを気にしているかたや、アレルギーでヘアカラーができないかたに利用していただいています。育毛の勉強もしているので、遠方から足を運んでくれるかたもいたり、近所のかたも来てくれたりといつも楽しく仕事をさせてもらっています。

近所ではお年寄りが多く、最近では頼られることが増えてきました。先日も近所のおばあちゃんたちが焼き芋を食べたいというので、焼き芋を作ったらたくさん集まってくれま



智世さん 近所のかたが移住した当初から親切にしてくれました。ここに移住して良かったと思います。

鳥羽の魅力は？

零生さん 近くに住む移住者とも交流があったり、浦村町で畑を借りるときも知り合いのおじちゃんが面倒をみてくれたり、徐々に付き合いが深まっています。

零生さん 人との付き合いが一番楽しいです。ほかには、長野には海がないので、畑に行くときに通るパールロードの麻生の浦大橋などの景色も魅力です。また、冬でもそこまで寒さを感じないですし、移住を検討しているかたには鳥羽は時間がゆっくりとしてるのでおすすめです。